



一人は万人のために、  
万人は一人のために

生協の理念

わたり病院玄関に掲げてあります

# ふくしま



発行所  
福島医療生協

# 医療生協

2025年7・8月号 第456号  
発行責任者 山口 裕  
<http://www.watari-hp.jp/>

福島医療生活協同組合 TEL 024-522-1236 〒960-8141  
医療生協わたり病院 TEL 024-521-2056 〒960-8141  
生協いいの診療所 TEL 024-562-4120 〒960-1301  
医療生協わたり病院附属 ふれあいクリニックさくらみず TEL 024-559-2664 〒960-0241

福島市渡利字中江町66  
福島市渡利字中江町34  
福島市飯野町字後川27-2  
福島市笹谷字塗谷地20-1

## 第59回 福島医療生活協同組合 通常総代会

2025年6月21日(土)  
「リッセふくしま」

理事長あいさつ



理事長  
齋藤 紀

の充実やケア労働者の賃上げは、国内の消費活性化に大きな効果を上げ、雇用創出と景気刺激、そして、地域経済の再生にまでつながるとされています。

2024年度は、医師をはじめ全職員の奮闘、組合員さんたちの活動の助けのもとで、前進が図られた側面があったと同時に、最終的に予算未達成の厳しい一年でした。歴史的に、長期にわたった医療機関における低診療報酬の背景には、医療費と社会保障費の削減、ケア労働者の賃金を削ることが必須の方策と考える政府、それを支える政治経済思想があります。この政策は、国民が幸せになる証拠があるのでしょ

か。昨年度の病院経営の約7割が赤字に陥ったことは、低診療報酬が撤回されない限り、医療崩壊を誘導するものであり、地域社会の安心の形成にはつながりえないことを示唆しています。

ある研究者によれば、医療福祉が今日の日本の最大の雇用産業となりつつある現在、社会保障

第2に、住民利用者の信頼の獲得です。一朝一夕ではなく、積み重ねが大切です。

第3に、医療人の最大の課題「医師養成」と、その中から地域医療に生きる仲間を生み出すことです。

第4に、第7次長期計画です。今年度は医師を中核に、職員自身の自由な論議や夢が必要になってきます。

最後に、世の中に視線を向けてみます。国際社会で、これほど理不尽で違法な戦争や侵略、殺戮等が繰り返される時期があったでしょうか。これほど、国際法や国連憲章が乱暴に踏みつけられることがあったでしょうか。国際平和運動の重要な結び目のひとつは被爆者の存在です。被爆者たちは、被ばくの惨状にガザの現状が重なり、絶望の思いで見ていることでしょうか。しかし、希望を捨ててはいけません。私たち福島医療生協の運動は、人権と平和、多様性と共生の社会の形成です。国際政治、国内政治の現状は、私たちにどう立ち向かうに遜色ない現状です。経営の困難を克服し、福島医療生協の歴史をしっかり紡いでいきたいと思



新入職員代表  
看護師  
齋藤 岳琉さん



### 福島医療生協機関紙

福島医療生協の機関紙は、QRコードを読み取ることでホームページ上でもご覧いただけます。



### 組合員活動部LINE紹介

日々の活動、様々な情報を紹介しています。

友だち追加はこちらから



# 「痛み止め、ちよつと待って」

わたり病院 薬剤科 大澤 秋恵 おおさわ あきえ



年齢を重ねると、ひざや腰、肩等の痛みに悩まされることが多くなります。また、若い方でも、生活の中で体に何かの痛みを生じ、市販の痛み止め(鎮痛薬)を利用して助かった、という経験をお持ちの方も多いたのではないのでしょうか。薬局やドラッグストアで手軽に購入できるため「病院に行くほどでもないから」あるいは「受診する暇がないから」と様々な利用の場面があると思います。今回は、市販の痛み止め(鎮痛薬)の種類や使用上の注意について、簡単にご紹介します。

年齢を重ねると、ひざや腰、肩等の痛みに悩まされることが多くなります。また、若い方でも、生活の中で体に何かの痛みを生じ、市販の痛み止め(鎮痛薬)を利用して助かった、という経験をお持ちの方も多いたのではないのでしょうか。薬局やドラッグストアで手軽に購入できるため「病院に行くほどでもないから」あるいは「受診する暇がないから」と様々な利用の場面があると思います。今回は、市販の痛み止め(鎮痛薬)の種類や使用上の注意について、簡単にご紹介します。

市販薬全般に言えることですが、他のお薬との飲み合わせが良くない場合もあるので「市販だから安全」と思わず、特に複数の薬を飲んでいる方や持病のある方は、ご利用の際、必ず医師や薬剤師に相談してください。

## ●種類・使用上の注意等

市販の痛み止めには大きく分けて、「アセトアミノフェン」や「NSAIDs(エヌセイズ)」といった種類があり、いずれも痛みや熱を和らげるはたらきがあるため「解熱鎮痛薬」に分類されます。アセトアミノフェンは比較的副作用が少ないとされていますが、過量服用では肝臓に負担がかかります。一方、エヌセイズの長期間の連用は胃腸障害や腎機能の低下等を起こす可能性があります。

## ●自己判断での連用は要注意

鎮痛薬は「痛みを和らげる効果」がある反面、痛みの「原因」となっている病気の発見を遅らせてしまうこともあります。痛みが続いたり、薬を飲まないで生活に支障が出るような場合には、必ず病院を受診してください。医師が詳しく診察し、原因に応じた治療を行ったうえで、体への負担が少ない薬を選んでくれます。痛みは、体からの大切なサインです。「ちよつとくらい我慢すれば…」と自己判断で対処し続けず、気になる痛みは早めに専門家に相談しましょう。

## ポプラ保育園

### 閉園のお知らせ

1975年に、わたり病院で働く職員のための保育園として開園しました。佐藤正元理事長宅を間借りし、保育士1名、園児1名からスタートしました。4度の移転や園舎建設を経て、今年3月までの約50年間、子どもたちの成長に携わってきました。運営体制の維持が困難になったことから、残念ながら2025年3月末を持ちまして、ポプラ保育園を閉園いたしました。これまで支えていただいたみなさま、ありがとうございます。



## 班紹介

### ぽけつと班

共同作業所ぽけつと代表 吉田 好子 よした よしこ

平成17年4月1日に開所した『共同作業所ぽけつと』は、今年で20年を迎えました。8人で立ち上げた障がい者の作業所でしたが、現在NPO法人となり、3人の職員と14人の登録者がいます。当初から手工芸品の作製販売事業を行っています。福島医療生協との班会も、早いものでスタートから20年が経ちます。健康に関する勉強や体や頭を使ったゲーム等、みんな

などでも楽しみにしています。21年目を迎えるぽけつと一同、心身ともに健康でいたいと願っています。みなさんのご支援よろしくお願ひします。



平成17年4月1日に開所した『共同作業所ぽけつと』は、今年で20年を迎えました。8人で立ち上げた障がい者の作業所でしたが、現在NPO法人となり、3人の職員と14人の登録者がいます。当初から手工芸品の作製販売事業を行っています。福島医療生協との班会も、早いものでスタートから20年が経ちます。健康に関する勉強や体や頭を使ったゲーム等、みんな



色々な作品を販売しています。



## SDGsクイズ

(答えは4ページの一冊下に)

意識している方も多いSDGsですが、みなさんはどのくらい知っていますか？ 未来のために、世界の人々が協力して取り組む目標をクイズで学んでみましょう。

問題1 SDGsは、何年までに実現させようとする目標でしょうか。

- ①2030年 ②2040年 ③2050年

問題2 日本の食品ロス(まだ食べられるのに捨てられてしまう食品)は、毎日、ごみ収集車(2トン車)で約何台分の食料を捨てていることと同じになるでしょうか。

- ①715台分 ②7,150台分 ③71,500台分

問題3 世界には、家族の生活を支えるために危険で厳しい仕事をさせられている子供たちが約何人いるでしょうか。

- ①790万人 ②7,900万人 ③7億9,000万人

# 戦争を考えるシリーズ⑩

## 「いのちを大切にしてください」

渡利支部 T・S（1938年（昭和13年）生まれ）



私は、昭和17年に両親と北朝鮮の平城市へ渡りました。父は、新しい絹織物工場で技術者として働いていました。住宅の敷地には、本社と工場、近くには交番等がありました。父は、田舎で何もありませんでした。寂しいところでも、私には子どもがいない社長さん夫婦に可愛がられ、恵まれた時期を過ごしました。

昭和20年4月、国民学校に入学しました。戦争が激化し、学校では勉強をすることもなく、毎日竹やりの訓練をしました。8月の暑い晴天の日、玉音放送が流れ、戦争が終わりました。その晩、近所の交番が焼き討ちに会いました。日本軍占領下の平城では、現地の人とは人として扱われませんでした。そのため、交番からは「責められ苦しい叫び声」が毎日のように響いていました。その声は子ども心にも深く突き刺さり、忘れ

られませんでした。しばらくすると、ソ連が参戦し、略奪と強姦が始まり私たちも襲われました。私と母は、トイレに息を殺して隠れ、父はソ連兵が欲しがると金目の物（特に時計を欲しがり、腕時計や置き時計、柱時計等）を渡したので、ケガもなく終わりました。父は無残に荒らされた家を見ながら、私たちが襲った若いソ連兵は、十分な教育を受けていない低階級層の兵士だろうと話していました。直ぐに逃げました。道中では多くの人が疲れと病に倒れていききました。自分たちの「命を守る」ことが精一杯で、両親の手を握りひたすら歩きました。私たち家族は、比較的治安が安定している地域の日本人施設に入りました。そこでも衛生状態が悪く、腸チフス等の伝染病が流行り、十分な治療を受けることなく多くの人が亡くなりました。

昭和21年10月頃、ようやく私たち家族は博多へ帰りまし

た。船から見る博多港の明かりは、幻想的でとても眩しかったです。当時、日本軍は軍事主義を押しつけ情報統制のために、たくさんの方の情報を流し、日本国民を追い詰めました。大陸でも、多くの人を傷つけ虐殺しました。戦争は二度と嫌です。若い人たちが戦争にかりだされ、子どもたちが私のような苦しい思いをしてほしくないのです。なのに……。最近、殺人事件のニュースがよく流れます。戦争中は、人殺しが正々堂々とまかりとありました。でも今は違います。もともと命を大切にしてください。

利き手 佐藤 綾子

※戦後80年が経ち、当時を語る方が少なくなっています。この方は当時7歳で思い出せないとはいえませんが、貴重な証言ですので掲載いたしました。



原水爆禁止

# 2025 国民平和大行進

世界では戦争が続き、核の脅威が私たちの生活を脅かしています。日本被団協のノーベル平和賞受賞への支持と共感、世界中に広がり、核兵器禁止条約への参加を求めている運動に勢いを与えています。

6月23日朝、医療生協わたり病院から核兵器廃絶と平和を訴えて行進しました。

## 原水爆禁止2025年世界大会 in 長崎 代表派遣決定!

8月7日～9日に行われる世界大会に、組合員1名、職員1名を派遣します。みなさんの平和への思いを長崎に届けてもらいます。応援のカンパをお願いいたします。



組合員代表 飯野支部 鈴木 香代子さん



職員代表 医事課 橋本 裕貴さん

7 (木) “被曝80年 長崎のつどい —被曝体験の継承と未来—”

15:00 ~17:30 会場:長崎市民会館・体育館

8~9 (金) 原水爆禁止世界大会—長崎

8 (金) フォーラム、分科会

9:30 ~15:00 会場:長崎市内会場

9 (土) 被曝80年ナガサキデー集会

10:30 ~13:00 会場:長崎市民会館・体育館



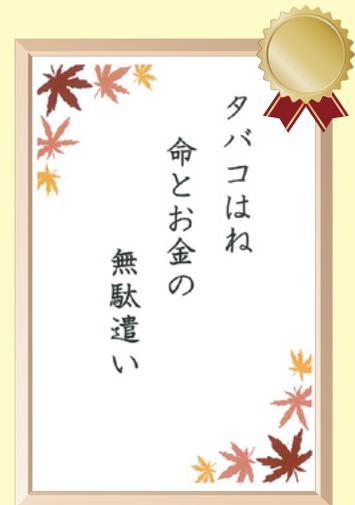
### 募集要項

- 対象：年齢問わずどなたでも
- 作品の条件：①郵便はがきサイズならなんでも可  
(絵てがみもしくは川柳どちらか、ひとり1作品)  
②はがきはたてよこ自由  
③画材は水彩・クレヨン、ちぎり絵など自由  
(自作の未発表作品)  
④落款印は自由(なくても可)  
⑤作品の返却は不可
- 応募方法：作品を郵送または直接届ける  
※作品の裏面に ①住所 ②氏名 ③連絡先  
①～③を必ず記入してください
- 応募窓口：福島医療生協 禁煙絵てがみ・川柳係 宛
- 応募期間：令和7年8月1日(金)～令和7年10月31日(金)
- 表彰：入賞者へは賞状と副賞を進呈します
- 作品展示：応募された作品は「コラッセふくしま」に展示します。  
展示期間/11月8日(土)12:00～16:00、  
11月9日(日)10:00～16:00
- 主催：福島医療生活協同組合

## 第5回 禁煙絵てがみ・川柳コンクール 作品大募集!

健康づくり  
企画の  
ご案内

～絵てがみや川柳で熱い禁煙メッセージを書いてみませんか?～



「第四回禁煙絵てがみ川柳コンクール」入賞作品  
禁煙エール賞  
川西支部 菅野巴さん(中学生)

## 第9回 すこしおチャレンジ 参加者募集!



### 内容

- ◆期間：9月1日(月)～12月12日(金)に①～③を2回測定します。  
①推定塩分摂取量  
②尿ナトリウム比(ナトリウム/カリウム)  
③推定カリウム摂取量
- ◆費用：800円(尿検査代・問診票・資料等)  
※お申込の際にお支払いください。
- ◆取扱い方法：詳細は、ご本人へ郵送します。  
※検体(尿)は、下記の期間にお持ちください。  
(1回目:9/1～9/12、2回目:12/1～12/12)  
いずれも、9時から12時まで(時間厳守)
- ◆提出先：福島医療生協 組合員活動部  
(住所:福島市渡利字中江町66)
- ◆結果：測定結果は、毎回ご本人へ郵送します。
- ◆締切：7月31日(木)
- ◆学習会：7月25日(金) 10:00～ アクティおろしまち減塩の学習会です。ご興味のある方はご参加ください。申し込みは7月18日まで。

### すこしおレシピ

なめらか緑黄色野菜ポタージュ / 小松菜の和風ポタージュ

ポイント1 だしで野菜を煮る  
ポイント2 豆腐と白みそを加えてミキサーで攪拌する

のど越しがよくて食べやすい。

**材料 (2人分)**  
小松菜 …………… 120g  
玉ねぎ…………… 1/4個(50g)  
もめん豆腐…………… 100g  
だし…………… 1・1/2カップ  
白みそ…………… 小さじ2  
塩…………… 小さじ1/4  
こしょう…………… 少量

**作り方**  
①豆腐はキッチンペーパーで包んで10分ほどおき、水けをきる。  
②小松菜はざくざくと切り、玉ねぎは薄切りにする。  
③なべにだしを入れて煮立て、②を加えて弱火で約5分煮る。  
④③と①、白みそをミキサーに入れてなめらかに攪拌する。なべにもどして温め、塩、こしょうで味をととのえる。

塩分 1.2g 1人分71kcal

## 無料 法律相談会

- 日時/毎月第2木曜日 13時30分から15時30分  
※日時は変更になる場合があります。
- 場所/福島医療生協わたり病院内  
電話申込制 TEL.522-1236
- 相談員/あぶくま法律事務所弁護士

### SDGsクイズの答え

- 問題1/①2030年
- 問題2/②7,150台分(一人が毎日お茶碗一杯分(約113g)を捨てている計算)
- 問題3/②7,900万人(この中には紛争に巻き込まれて、兵士にさせられている子どももいます)

### 8月の休診日のお知らせ

	10日(日)	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)	16日(土)	17日(日)
わたり病院	休診	休診				休診	休診	休診
いいの診療所	休診	休診				休診	休診	休診
クリニック さくらみず	休診	休診			休診	休診	休診	休診

※変更になる場合があります

# 2024年度のまとめと2025年度の方針

第59回通常総代会が、6月21日(土)コラッセふくしまにて、全議案が可決され終了しました。



専務理事  
山口 裕  
やまぐち ゆたか

## 2024年度のまとめ

2024年度は、各支部、事業所で様々な活動が実践できました。11回目を迎えた禁煙ポスターコンクールは、今年も622作品の応募があり、福島県北地域の小学生の恒例の行事となりました。クリニックさくらみずで行われた北ブロックのバザー、わたり病院の冬マルシェ、わたりげんきまつりは、事業所はもとより、組合員、職員、そして地域とのつながりが感じられたイベントとなりました。

平和の活動も旺盛に行われました。国民平和大行進や原水爆禁止世界大会へ代表を派遣することができ、日本被団協のノーベル平和賞受賞とともに、平和への願いをあらためて確認できました。

事業活動の点では、厳しい結果となりました。日本医師会と全国組織の6つの病院団体は、今年3月に記者会見を開き「このままでは、ある日突

然、地域から医療機関がなくなってしまう」と訴えました。日本医療福祉連合会では、「深刻な経営状況、尋常ならざる事態」といっています。まさに全国の医療機関、介護施設は、深刻な経営危機に陥っています。国の医療費抑制政策がこの状況を招いています。福島医療生協も例外ではなく、2024年度決算は当初計画していた3,500万円の経利益に届かず832万円の経常利益になりました。

2025年度は、アメリカのトランプ大統領に世界が振り回されるなか、紛争による市民の被害は後を立ちません。平和を願う私たちにとって、さらに活動を広めていく必要があります。また、国の社会保障費の削減、物価高騰、少子高齢化の問題等、多くの課題が山積しています。

## 2025年度の方針

私たちは、安心してくらせるまちづくりをめざし、2025年度は以下の点を重点にすすめていきます。

- ① 誰もが居心地よくくらす

- ② 地域まるごと健康づくりをすすめます
- ③ 平和で安心してくらする社会づくりをすすめます
- ④ 求められる活動を推進できる組織づくりをすすめます
- ⑤ 組合員の事業運営への参加と、職員の生協活動への参加の推進をすすめます
- ⑥ 組合員活動の中期計画づくりをすすめます

## 《事業活動》

事業活動の点では、昨年に引き続き厳しい情勢が続きます。2025年度の予算は、事業収益(収入)を39億9,813万円とします。これは、前年度より7,638万円多い計画です。それでも、物価高騰、人件費の増加により経常剰余は、1,130万円の赤字予算となります。

- ① 組合員・住民に寄り添い、信頼される医療・介護活動をすすめます。
- ② 第7次長期計画につながる経営改善の実践をすすめます。
- ③ 医療生協・民医連の事業と運動を担う後継者の確保と養成の課題、働きやすい職場づくりの課題にとりくみます。
- ④ 組合員と事業所・職員の協同、健康と平和を守り、安心・安全のまちづくりをすすめます。

最後に、2025年は国連

が定めた協同組合年です。国会では今年5月に「協同組合の発展に留意すること」という決議が採択されました。国連でも国会でも私たちの日々の活動が評価され、さらなる発展が期待されています。



協生協 院長  
わたり病院 北條 徹  
ほうじょう とおる

特別発言として、わたり病院の各診療科別の昨年度の総括と今年度の方針について発言しました。その中の一部、リハビリテーション科と緩和ケア科について掲載します。

## 《リハビリテーション科》

昨年度は、予算に対する達成率は100.4%で、病床稼働率をみても95.1%の高い稼働を維持できました。「透析」と「リハビリ」の両方を必要とする患者の受け入れを伸ばす方針でしたが、むしろ減少しました。透析患者が減少するフェーズに入ったのか分析していかねければなりません。

地域リハビリテーション室は、地域からの期待も高く、さらなる活躍が望まれています。リハビリの質を上げる目的で、4年前から開始した「リハビリテーションマニュアル」づくりは、順調にすすんでいます。動画も蓄積し、診療の質向上に活用していきたいと思えます。また、スタッフ教育をおし

る発展が期待されています。事業活動でも組合員活動でも様々なところと連携を深め、地域の医療と介護を守り、誰もが居心地よくくらするまちづくりをすすめていきます。

## 「いつでも誰もが安心してかかれる病院をめざして」

自身が行っていることを言語化し、雑誌への論文投稿もしながら、知識・能力の向上につなげていきたいと思えます。そして、4年前から目標に掲げてきた、院内セラピストの「患者ケアへの参加」は、今年こそ実行に移したいと思えます。

現在リハビリテーション科では、5年前から福島県立医科大学の医学生臨床実習を受け入れています。リハビリの実習で、初めてわたり病院を訪れた医学生たちの当院に対する印象は良く、後継者育成への足掛かりとして重要な位置を占めています。

## 《緩和ケア科》

当院の緩和ケア病棟は、震災2年後に開設された県北で唯一の緩和ケア病棟です。地域の期待が高いと考えています。以前は、1人の緩和ケア担当医師に多くの負担がかかる形でした。昨年度から病棟医長以外にも、多くの内科・総合診療科医師が、緩和ケア病棟

ましよう。その実践のため、役員一同がんばっていきます。ご協力をお願い申し上げます。

に関わり、2年目の初期研修医も緩和ケアの研修を経験することができました。以前はベッド稼働が少なく、1日平均12名の入院患者が目標にもかかわらず、一昨年度は8名、昨年度は11名と目標には到達しませんでした。今年度は、13名を目標として、さらに診療の質も上げて、ご期待に応えたいと思えます。

最後に、今年度は組織全体で、「心理的安全性の保たれた職場」づくりを提案しています。パワハラ・セクハラ・モラハラ等のない、風通しの良い職場づくりが昨今ますます重要になってきました。総務部長の協力の元、職員の教育に力を入れて、離職の少ないかつ生産性の高い職場づくりに邁進したいと思えます。

50周年を機に、病院の理念でもある「いつでも誰もが安心してかかれる病院」を意識して取り組んでまいりたいと思えます。今年12月には、わたり病院として「医療機能評価機構」からの評価の更新に取り組みます。組合員のみならず、引き続きご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

# 第59回 通常総代会での発言

## わたり病院の病院食について

わたり病院の給食は私たちが作っています。患者さんの病態や嚥下状態に合わせて少しでも多く召しあがっていただけるように、栄養士と調理師が協力し、可能な範囲で個別対応を行っています。毎月実施している行事食や誕生食は大変喜ばれています。各病棟に担当栄養士を配置し、患者さんの栄養管理を行い、栄養状態の改善を目指し日々奮闘中です。



栄養科  
鈴木 久美子さん

## 感謝のつどい

大笹生笹谷支部は、現在78名の機関紙手配りさんに協力いただき、約1000部の機関紙を配達をしています。その手配りさんをご招待して、支部総会を兼ねた感謝のつどいを3月に開いています。フラダンスの披露や体操の他、地域包括支援センターやクリニックさくらみずの事務長による学習会等、多彩です。組合員の高齢化も進み、手配りを辞める方もいます。担い手不足はどの支部も悩んでいることと思います。私たちも一緒です。ですが、地元で楽しくできる行事を大切にこれからも継続して行きたいと思っています。



大笹生笹谷支部  
高田 トミ子さん



訪問リハビリテーション室  
大波 清貴さん

## 訪問リハビリテーションの紹介

わたり病院訪問リハビリテーションを開設して5年が経過しました。病院でリハビリを行い、いざ自宅に帰ると、環境が変わることで様々な課題に直面します。置かれた状況は一人ひとり異なるため、具体的に現場で解決する力が求められます。

地域リハビリテーション室では、地域との繋がりづくりのため、公開講座を主催しています。利用者やその家族の方に限らず、ケアマネージャーや誰でも参加できます。わたり病院は県北でも有数なりハビリテーションに強い病院です。入院から在宅生活が落ち着くまで、回復期との連携を強化し、切れ目のないリハビリテーションを強化していきたいです。



霊山支部  
佐々木 荘之助さん

## 高齢者住宅ひだまり・ヘルパーステーションひだまりの紹介

「入居者も職員も心から笑顔になれるひだまりをつくる」をスローガンに掲げています。「施設」ではなく「住宅」として、入居者の方にとって「自由で快適な生活」を提供しています。入居後も、昔からの生活習慣を継続できることや穏やかな人間関係を築けることを理想に、安心して過ごしていく場所になりたいと思っています。普段は、外出外泊が可能です。看取りも可能なので、ご本人やご家族が希望されたときは、住み慣れた居室で最期の時間を過ごしていただけるようお手伝いします。



ヘルパーステーション  
ひだまり  
高橋 夏子さん

## 5年後、10年後を見据えた提案

路線バスの減便や廃止により、車が無い高齢者は外出に不便を感じています。特に、あづま支部がある福島駅西口側は、バスの本数が元々少ない現状です。わたり病院の送迎車は、西部コースとして週1回配車されていますが、担当医の兼ね合いで、利用できません。そこで、わたり病院の送迎車と路線バスを活用していく方法を考える必要があると思います。路線バスの存続は、住み慣れた地域から駅までの交通手段の確保に必要不可欠です。そして、わたり病院の送迎車が西口を経由することで、病院の利用者増にもつながります。ぜひ、病院から離れて暮らしている組合員がもっと利用できるような考えをほしいです。



あづま支部  
菅野 文雄さん

## 平和のための戦争展に参加して

戦後80年になろうとしている現在、戦争という惨劇を体験し、語り継いできた人たちが、わずかとなってしまいました。だからこそ、あらためて戦争の恐ろしさ、醜さを知って、未来の平和を考える「平和のための戦争展」を企画、開催しました。霊山の戦没者資料や戦争遺品の展示の他、福島大学名誉教授の伊藤昌太先生の記念講演や伊達高校演劇部による詩の朗読会を行いました。幅広い世代の方に、平和と戦争について考えてもらえるこの企画を続けていきたいと思っています。

あづま支部 (あづさい班)

### 〇奨励賞

特徴的な企画・催し物などで班活動を活性化させ、支部活動の発展にも貢献している班

川俣支部 (すずらん班)、霊山支部 (掛田班)

渡利支部 (高谷班)、渡利支部 (シルバー班)、大笹生笹谷支部 (横堀班)、飯野支部 (コスモス班)、川西支部 (やっこみっぺ班)

2. 班会を10回以上開催、2年間以上継続している班

### 〇優良賞

### 班表彰

1. 班会を5回以上開催、組合員を10人以上または年度当初の班員以上ふやし、社保活動にも努力している班。

渡利支部、飯坂支部、大笹生笹谷支部、鳥川平田支部、大森永井川支部、杉妻支部、霊山支部、川西支部

### 〇優良賞

運営委員会を10回以上開催し、全国4課題のいずれかを2つ以上達成している支部

### 支部表彰

① 組合員ふやし  
② 出資金ふやし  
③ 担い手ふやし(5人以上または年度当初の3分の1以上)  
④ 新班の結成(3班以上結成)

## 第59回通常総代会 支部・班表彰

受賞されたみなさん、おめでとうございます。